

令和6年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2024

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2 ~R6	継続	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
	2		健康栄養学科	講師 南 育子	R2 ~R6	継続	タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価
	3		健康栄養学科	教授 成田 新一郎	R4 ~R6	継続	外膜タンパク質のフォールディングを支えるペリプラズムシャペロンネットワークの解明
	4		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R6 ~R8	新規	運動介入が記憶能力に及ぼす影響と腸内環境との関連の解明
研究分担者	5	基盤研究(B)	健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R4 ~R6	継続	腸内細菌叢由来代謝物質がもたらす持久力向上分子基盤の解明
	6		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R5 ~R9	継続	触覚インフォマティクスを利用した魅力喚起プロセスのモデリングとその応用
	7	基盤研究(C)	健康栄養学科	助手 大津 佑太	R6 ~R9	新規	食塩・野菜摂取の意識改革アプローチとヘルスリテラシー獲得のための栄養介入

令和5年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2023

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 沼山 博	H31 ~R5	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究-日・台・韓を中心として
	2		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2 ~R5	継続	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
	3		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R3 ~R5	継続	消化管機能・腸内環境の可塑性に与える運動トレーニングの影響
	4		健康栄養学科	講師 南 育子	R2 ~R5	継続	タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価
	5		健康栄養学科	教授 成田 新一郎	R4 ~R6	継続	外膜タンパク質のフォールディングを支えるペリプラズムシャペロンネットワークの解明
研究分担者	6	基盤研究(B)	健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R4 ~R6	継続	腸内細菌叢由来代謝物質がもたらす持久力向上分子基盤の解明
	7		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R5 ~R9	新規	触覚インフォーマティクスを利用した魅力喚起プロセスのモデリングとその応用
	8	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 沼山 博	R5 ~R8	新規	シングルマザーの幸福感とその関連要因:新型コロナ感染症も含めた生活要因を中心に

令和4年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2022

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29 ~R4	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	2		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31 ~R4	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究—日・台・韓を中心として
	3		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31 ~R4	継続	嘔むと飲むの交差点:神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	4		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2 ~R5	継続	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
	5		健康栄養学科	講師 南 育子	R2 ~R5	継続	タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価
	6		健康栄養学科	助手 船木 智	R2 ~R4	継続	VCP化合物の最適化による新規神経保護薬の開発
	7		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R3 ~R5	継続	消化管機能・腸内環境の可塑性に与える運動トレーニングの影響
	8		健康栄養学科	教授 成田 新一郎	R4 ~R6	新規	外膜タンパク質のフォールディングを支えるペリプラズムシャペロンネットワークの解明
研究分担者	9	基盤研究(B)	健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R4 ~R6	新規	腸内細菌叢由来代謝物質がもたらす持久力向上分子基盤の解明

令和3年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2021

	No	種目	研究者		研究期間	新規継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29 ～R3	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	2		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31 ～R4	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究－日・台・韓を中心として
	3		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31 ～R3	継続	噛むと飲むの交差点：神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	4		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2～ R5	継続	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
	5		健康栄養学科	講師 南 育子	R2～ R5	継続	タンパク質立体構造からの食物アレルギー抗原性の調理・加工による変化の予測と評価
	6		健康栄養学科	助手 船木 智	R2～ R4	継続	VCP化合物の最適化による新規神経保護薬の開発
	7		健康栄養学科	教授 加藤 守匡	R3～ R5	新規	消化管機能・腸内環境の可塑性に与える運動トレーニングの影響

令和2年度科学研究費採択状況

scientific research for fiscal 2020

	No	種目	研究者		研究期間	新規 継続	【研究課題】
研究代表者	1	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 安部 貴洋	H29 ～R2	継続	「現実探求としての生活綴方」の理論形成と変容
	2		健康栄養学科	教授 成田 新一郎	H30 ～R2	継続	細菌外膜LPSTランスロコン生合成におけるBepAの作動機構の解析
	3		健康栄養学科	教授 沼山 博	H31 ～R4	継続	子どもを持たない中年期成人の幸福感に関する国際比較研究－日・台・韓を中心として
	4		健康栄養学科	教授 齋藤 和也	H31 ～R3	継続	嘔むと飲むの交差点：神経基盤の解明と嚥下障害治療への応用
	5		健康栄養学科	教授 安部 貴洋	R2～ R5	新規	人間綴方と生活綴方における「自然」の再考
研究分担者	7	基盤研究(C)	健康栄養学科	教授 成田 新一郎	H30 ～R2	継続	細菌リポ蛋白質の選別的な膜局在化を支える分子基盤の解明
	8	基盤研究(B)	健康栄養学科	教授 成田 新一郎	H30 ～R2	継続	膜外コンポーネントと共役して機能する新奇ABC輸送体の構造機能解析